

『乙種 1・2・3・5・6 類 危険物取扱者試験 平成 30 年版(初版)』 に関するお詫びと訂正のご案内

『乙種 1・2・3・5・6 類 危険物取扱者試験 平成 30 年版』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。

よろしくお願い申し上げます。

初 版

P56 5. 塩素酸 カルシ ウム	誤	<p>性質</p> <p>比重 2.7 融点 325℃</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水によく溶ける。 ▪ 潮解性がある。 ▪ 水溶液からは 76℃以下で二水和物、76℃以上で無水物が析出。 ▪ 二水和物は急激に加熱すると、100℃で溶解する。
	正	<p>性質</p> <p>比重 2.7 融点 325℃</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水によく溶ける。 ▪ 潮解性がある。 ▪ 水溶液からは 76℃以下で二水和物、76℃以上で無水物が析出。 ▪ 二水和物は急激に加熱すると、100℃で融解する。
P71 【5】	誤	<p>【5】 解答「5」(A・Cは○、B・Dは×)</p> <p>B. 過酸化ナトリウム Na_2O_2 は水と反応するため、水で湿潤した状態にしてはならない。</p> <p>D. 過酸化ナトリウムは加熱により融解すると、白金 Pt をおかす。このため、白金のるつぼを使用してはならない。るつぼは、高熱を利用して物質の溶融を行う際に使用する湯のみ状の耐熱容器で、実験では 20mℓ 程度のものが使われる。</p>
	正	<p>【5】 解答「5」</p> <p>4. 過酸化ナトリウム Na_2O_2 などのアルカリ金属の過酸化物は、炭酸水素塩類を使用する粉末消火器が適応する。リン酸塩類を使用する粉末消火器は適応しない。</p> <p>5. 乾燥砂などで窒息消火する。</p>
P72 【6】	誤	<p>【6】 解答「1」(B・Dは○、A・Cは×)</p> <p>A. 過酸化ナトリウム Na_2O_2 は、麻袋や紙袋などの可燃物に接触させてはならない。また、吸湿性もあるため、容器に入れて密封する。</p> <p>C. 過酸化ナトリウムは水と反応するため、水で湿潤した状態にしてはならない。</p>
	正	<p>【6】 解答「5」(A・Cは○、B・Dは×)</p> <p>B. 過酸化ナトリウム Na_2O_2 は水と反応するため、水で湿潤した状態にしてはならない。</p> <p>D. 過酸化ナトリウムは加熱により融解すると、白金 Pt をおかす。このため、白金のるつぼを使用してはならない。るつぼは、高熱を利用して物質の溶融を行う際に使用する湯のみ状の耐熱容器で、実験では 20mℓ 程度のものが使われる。</p>

P72 【7】	誤	<p>【7】 解答「2」(D・Eが誤り)</p> <p>D. 有機物や可燃物などと混合すると、衝撃・摩擦・加熱等により発火・爆発するおそれがある。</p> <p>E. ガス抜口のない容器に入れて、密栓して貯蔵しなければならない。</p>
	正	<p>【7】 解答「1」(B・Dは○、A・Cは×)</p> <p>A. 過酸化ナトリウム Na_2O_2 は、麻袋や紙袋などの可燃物に接触させてはならない。また、吸湿性もあるため、容器に入れて密封する。</p> <p>C. 過酸化ナトリウムは水と反応するため、水で湿潤した状態にしてはならない。</p>
P72 【8】	誤	<p>【8】 解答「5」</p> <p>4. 過酸化ナトリウム Na_2O_2 などのアルカリ金属の過酸化物は、炭酸水素塩類を使用する粉末消火器が適応する。リン酸塩類を使用する粉末消火器は適応しない。</p> <p>5. 乾燥砂などで窒息消火する。</p>
	正	<p>【8】 解答「2」(D・Eが誤り)</p> <p>D. 有機物や可燃物などと混合すると、衝撃・摩擦・加熱等により発火・爆発するおそれがある。</p> <p>E. ガス抜口のない容器に入れて、密栓して貯蔵しなければならない。</p>

P75 2. 臭素酸 ナトリ ウム	誤	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">性質</td> <td>比重</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>融点</td> <td>381℃</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水によく溶け、エタノール、メタノールにも溶ける。 ▪ 不燃性で、強力な酸化剤である。 ▪ 加熱すると、臭化ナトリウム NaBr と酸素に分解する。 </td> </tr> </table>	性質	比重	3.3	融点	381℃	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 水によく溶け、エタノール、メタノールにも溶ける。 ▪ 不燃性で、強力な酸化剤である。 ▪ 加熱すると、臭化ナトリウム NaBr と酸素に分解する。 		
	性質	比重		3.3						
融点		381℃								
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 水によく溶け、エタノール、メタノールにも溶ける。 ▪ 不燃性で、強力な酸化剤である。 ▪ 加熱すると、臭化ナトリウム NaBr と酸素に分解する。 										
正	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">性質</td> <td>比重</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>融点</td> <td>381℃</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水によく溶け、エタノールにはほとんど溶けない。 ▪ 不燃性で、強力な酸化剤である。 ▪ 加熱すると、臭化ナトリウム NaBr と酸素に分解する。 </td> </tr> </table>	性質	比重	3.3	融点	381℃	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 水によく溶け、エタノールにはほとんど溶けない。 ▪ 不燃性で、強力な酸化剤である。 ▪ 加熱すると、臭化ナトリウム NaBr と酸素に分解する。 			
性質	比重		3.3							
	融点	381℃								
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 水によく溶け、エタノールにはほとんど溶けない。 ▪ 不燃性で、強力な酸化剤である。 ▪ 加熱すると、臭化ナトリウム NaBr と酸素に分解する。 										

P223 1. 硝酸 メチル	誤	<table border="1"> <tr> <td>危険性</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 揮発性があり、常温(20℃)で引火性する。 ▪ 加熱、衝撃で爆発しやすい。 </td> </tr> </table>	危険性	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 揮発性があり、常温(20℃)で引火性する。 ▪ 加熱、衝撃で爆発しやすい。
	危険性	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 揮発性があり、常温(20℃)で引火性する。 ▪ 加熱、衝撃で爆発しやすい。 		
正	<table border="1"> <tr> <td>危険性</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 揮発性があり、常温(20℃)で引火性する。 ▪ 加熱、衝撃で爆発しやすい。 </td> </tr> </table>	危険性	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 揮発性があり、常温(20℃)で引火性する。 ▪ 加熱、衝撃で爆発しやすい。 	
危険性	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 揮発性があり、常温(20℃)で引火性する。 ▪ 加熱、衝撃で爆発しやすい。 			